



Title	日本語・日本文化研究 第25号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 2015, 25
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/54497">https://hdl.handle.net/11094/54497</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 執筆者紹介 (目次順)

三原 健一	(本学大学院言語文化研究科教授)
儀利古 幹雄	(本学大学院言語文化研究科助教)
デンスパー・スワッターナー	(本学博士後期課程 D3)
パニーニ・セーリム	(本学博士後期課程 D3)
ドゥアンケーオ・パオサタポーン	(本学博士後期課程 D3)
カムトーンティップ・タワット	(本学博士後期課程 D2)
高 一波	(本学博士後期課程 D2)
千々岩 宏晃	(本学博士後期課程 D1)
李 偉	(本学博士後期課程 D1、哈爾濱理工大学講師)
榎原 実香	(本学博士前期課程 M2)
久保田 育美	(本学博士前期課程 M2)
シャミシエワ・ナズグリ	(本学博士前期課程 M2)
オキ・ディタ・アプリヤント	(本学博士前期課程 M2)
安原 凜	(本学博士前期課程 M2)
白 琇晶	(本学博士前期課程 M2)

## 編集後記

皆様のおかげで2015年度も『日本語・日本文化研究 第25号』を無事発行することができた。様々な形でご協力くださった方々にお礼を申し上げる。第25号に掲載された論文15編の著者には忌憚のない御意見をお伝えいただければありがたい。

今年度から、日本語教育学の小森万里先生と音声学の儀利古幹雄先生のお二人に大学院の授業をご提供いただいている。既に加わっていただいている日本語教育学の大和祐子先生、日本近代文学の水野亜紀子先生と合わせて4名の新しい先生方のご参加を得たことになり心強い限りである。

反対に、去っていかれる先生方もいらっしゃる。今年の9月には、大学院で比較思想を担当してこられた嶋本隆光教授が早期退職された。嶋本先生はイスラムの専門家で、広く国内外の文化について資料を駆使した興味深い授業をなさったと聞いている。先生のおカップ頭が懐かしい。

今年度末には言語学の三原健一教授が退職なさる。三原先生は生成文法がご専門で、四半世紀にわたり御指導をいただいた。学生の間ではダンディーな先生として知られ、カントリーミュージックの論客としても知る人ぞ知る有名人である。大阪外国語大学時代には研究科長としてもご活躍され、今年度は日本語・日本文化専攻の専攻長として大学院の運営にも御尽力いただいた。

両先生の長年のご苦勞に対し、紙面を借りて深く感謝の意を表したい。

光陰矢の如し（M.S.）

**日本語・日本文化研究 第25号**

平成27年12月1日

編集者：大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻  
『日本語・日本文化研究』編集委員会

発行所：〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号  
大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

印刷所：〒531-0072 大阪市北区豊崎7-7-2  
株式会社 アイジイ